

令和6年度「世界史基礎」シラバス

科 目 名		必修・選択	単位数	類型
世界史探究		選択	2	文型・G C
教科書 副教材等	教科書：詳説世界史（山川出版社） 資料集：最新世界史図説タペストリー（帝国書院）			

1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

- ・世界の歴史を広い視点から捉え、より深く理解していきます。
- ・いろいろな資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる力を更に身に付けるようにします。
- ・学習内容や調べた内容を多面的・多角的に考察したり、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりします。

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。
- ・問題意識を持つためにも、質問することを恐れなくてください。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebook などを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモををしっかりとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力 (③)」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考査等
一 学 期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質	都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解し、その影響等について考察する。	中間考査 期末考査
二 学 期	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	東アジア・南アジアを中心に、それぞれの地域の風土と形成された文明との関係を理解し、その文明が与えた影響等について資料をもとに考察する。	中間考査 期末考査
三 学 期	第4章 西アジア世界と地中海周辺 国家形成 第5章 イスラームの成立とヨーロッパ世界の形成	西アジア世界・ヨーロッパ世界を中心に、風土や歴史の変遷など、資料をもとに多面的・多角的に考察する。	学年末考査